



宣誓書を読み上げる山下事務主査と松永教諭

船木東れんげ祭りで交流

4月8日、船木区を流れる五反田川周辺のレンゲ畑で、船木東集落協定による第3回船木東レンゲ祭りが行われました。

会場周辺の水田に咲くレンゲは、辺り一面を淡いピンク色で染めていました。

祭りには、集落の約200人が参加し、子ども達は、水路に放された約100匹のニジマスを釣ったり、お年寄りも、カラオケを歌ったりとレンゲ畑を眺めながら祭りを楽しみ、世代間の交流を深めました。



ニジマス釣りを楽しむ子ども達

ようこそ先生

転入教職員の集い・宣誓式

4月11日、本町の小・中学校に新しく赴任された47人の先生方を迎え、教職員歓迎会及び宣誓式が行われました。歓迎会では、本町特産の「お茶」で乾杯し、「たけのこ」や「ごぼう」などの郷土の素材をふんだんに使った料理で先生方を歓迎しました。

その後、宣誓式が行われ、松永瑠那教諭（盈進小学校）と山下真吾事務主査（宮之城中学校）が宣誓書を読み上げました。福満教育長は「地域の自然と特色を生かして、子ども達の個性と能力を最大限に伸ばして欲しい」と激励しました。



研修会の様子

住みよい地域を目指して

4月20日、宮之城総合体育館で、平成19年度地区行政推進員・公民会行政連絡員研修会が行われました。

研修会では、推進員20人と連絡員143人へ委嘱状が交付された後、各課から事務事業などの説明が行われました。

また、県内の小学校長を歴任された社会教育実践家の森健一郎先生を招き、まちづくり講演会も行われ、地域の活性化とリーダーとしての役割などを学ばれました。

委嘱された163人は、地域のリーダーとなり、住みよい地域づくりのために、自治組織の円滑な運営や諸問題に対処します。また、行政政策や各種行事の周知協力、各種調査の取りまとめなど、町行政と地域とのパイプ役になります。

4月12日、宮之城交通少年団（盈進小5・6年生20人で構成）の結団式が、盈進小学校校長室で行われました。結団式では、外川内仁志団長（6年生）が、さつま地区交通安全協会（白石九洲男会長）から腕章・バッチなどを受け取り、団員全員で、交通少年団三つの誓いを述べ、交通戦争に対する勝利のVサインで敬礼をしました。交通少年団は、さつま地区交通安全協会に属し、毎月20日、「交通安全の日」を主体に、街頭立哨や交通安全行事に参加し、交通安全を呼びかけます。



勝利のVサインで敬礼する団員

勝利のVサインで敬礼 交通少年団結団式